上田市立東小学校　学校だより

望と勇

令和８年11月６日
No.28
文責　田中　誠

人権同和研修会

11月５日（木）は人権同和教育研修会でした。第一中学校区の先生方が集まり、３クラスの授業を参観、人権同和教育の視点から討議をし、研鑽を深めました。

低学年の研修会では、1年2組の国語「くじらぐも」を通して学び合いました。

学級担任は、友だちの話に耳を傾ける姿を大事に授業を作ってきましたが、研究会ではさらにその姿を高めていくにはどうしたらいいのかが話題に出されました。

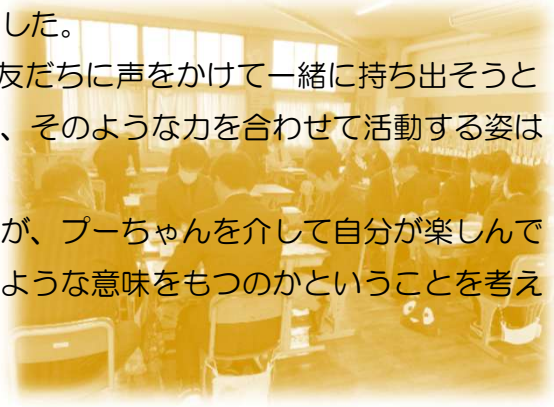
「自分と友だちの意見の違いに焦点を当てて聞くことが学習につながり、そのよく聞く姿を先生に褒めてもらうことがよく聞く姿につながるのではないか」

「友だちの話を聞くことが相手を大事にすることであることをその都度伝えていく。」

などの考えが出されました。

中学年の研修会は、3年2組の総合的な学習の時間「プーちゃんニコニコ大作戦」を通して学び合いました。

プーちゃんのために小屋を棲みやすくしたり、遊び場を作ろうとしたりするなど、自分がやりたいことを自分で選んで、友だちと力を合わせながら取り組む授業でした。



「材料を運び出そうとするAさん。それをなんとかしようと、友だちに声をかけて一緒に持ち出そうとしていました。もし、あらかじめ先生が用意していたとしたら、そのような力を合わせて活動する姿は見られなかったと思います。」

「やりたいという気持ちに支えられて活動にのめり込んでいたが、プーちゃんを介して自分が楽しんでいるという側面も見られた。これからプーちゃんにとってどのような意味をもつのかということを考える段階に入っていくのではないか。」

などの意見が出されました。

高学年の研修会は、6年2組の体育「ネット型ゲーム」を通して学び合いました。

「教科等の授業の中で人権を大切にして学び合う子どもを育てていくために教師はどうかかわりどう支援していくか」が話題になりました。

ご指導をいただいた東信教育事務所学びの共創課　濱嶋健二　指導主事からは、「安心して語り合える学級づくり」「資質・能力の育成のために大切なことは、人権感覚を育成するために大切なことと重なっている」などのご指導がありました。

人権同和教育は、全教育活動を通して行う学校教育の基盤ともいえる内容です。今回の研修は日常の授業において教師が人権同和教育の視点をもち、子どもたちが意識できるようにしていく姿を目指しました。東小学校が4月から取り組んでいることです。11月のなかよし月間はいつも以上に感覚を研ぎ澄ませ授業に臨む所存です。